

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SECカーボン GF-2号炉	階数	地上1F
建設地	京都府福知山市長田野町3丁目26番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	4人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	7,680時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2009年12月1日
敷地面積	489,915 m ²	作成者	松下 昭彦
建築面積	3,270 m ²	確認日	2009年12月5日
延床面積	3,270 m ²	確認者	竹中 徹

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 4.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
軽量・耐候性のある両面塩ビ鋼板の屋根を採用し、軽量化および躯体の高耐久性の図った		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 安全性の高い構造設計を行い、耐震性の向上	Q3 室外環境(敷地内) 生産上の要所に除塵設備を配置し、周辺環境へ配慮した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 基礎にリサイクル材を使用した 生産ラインに原料リサイクル設備を導入	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい